



素人の俳句独訳

昭和32卒 稲積 充

拙稿につきご関心をお持ちの方は筆者までご連絡
戴ければ幸甚です。 minazumi@trad.ocn.ne.jp

【前文】70歳を前にした私を無謀にも俳句独訳に駆り立てるきっかけを与えたのは、2002年3月3日のテレビ放映・NHK俳壇に登場した次の独語俳句でした。これは当時のケルン（Köln）の日本文化センター主催の句会で特選に選ばれた作品です。

Fuer Kaltezeiten

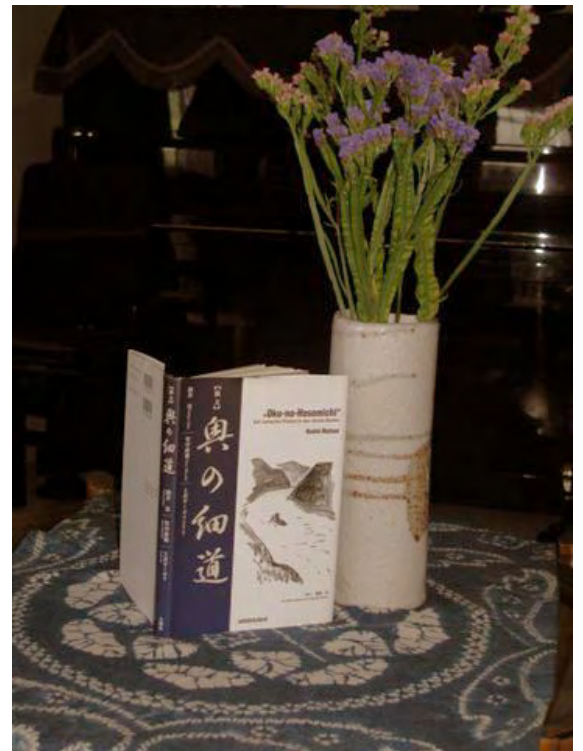
den Rosenduft bewahren

als Marmelade.

(von Margarete Schmidt)

(薔薇の香をジャムに留めむ冬を待つ：某邦人女性の和訳)

当時、その文化ジャンルに関する私の素養は、殆ど皆無に近く、大学の教養課程での独語学習の外には、その少し前に始めたNHKラジオ独語講座を聴く程度、また俳句については身近に俳句結社の存在をうすうす感知した程度でした。2002年5月、ラジオ独語講座を縁とする「ALLES GUTEの会」なる小さな同好会に参加し、その機関紙（らしきもの）として「ALLES GUTE」の編集を担当し、発行を始めました。それから10年、友人のご好意や立派な師に恵まれたお陰で、漸く曲がりなりにも俳句独訳の基本的な表現手法を概ね習得できたようです・・・ただし、表現力の出来栄は永遠の課題として。



「独文・奥の細道」：酒井吏・竹中康雄・土井ギーゼラ共訳（三修社2005年11月の表紙の写真）

現在、私は「ALLES GUTE」の編集・運営を預かっていますが、私たちのさ
さやかな十数人の会員の読み物だけに終わらせるのではなく、京機短信を借
りてその概要を皆様にお伝えすることにより、これまでお世話戴いた友人
(京機会のクラスメートと京都の学生会館の友人) およびご指導戴き、戴いた
立派な師の恩に、いささかでも報いたいと考えます。

2011年9月現在、この「ALLES GUTE」は第28号(年2回発行)まで出して
います。京機短信を私の拙文のために何回も拝借するのは憚られますが、
もし読者諸氏のお許しを戴けるなら、年3~4回程度で数年に亙って寄稿した
いと思います。第1稿は会報「ALLES GUTE」の一つの典型と「ALLES GUTE
の会」の現状の概要をお伝えするものとし、第2稿はドイツの俳句事情を、第
3稿以降は2005年以降の会報(抜粋)に戻ってお伝えしたいと思います。

【第1稿その1・会報「ALLES GUTE」の一つの典型】

会報「ALLES GUTE」の一つの典型として第23号(AG#23)を取り上げます。こ
れは、先任のご指南役であるサスキア先生(Frau Dr. Saskia Ishikawa-
Franke)の模範的なバージョン(独語訳)の一つです。先生のバージョン
の紹介に併せて、筆者の「サスキア先生バージョンの鑑賞」なる小文も作成
して、筆者のバージョンの反省の糧としましたが、同時にこの抜粋もお伝え
して読者各位のご参考にご供したいと思います。

(注記: " 筆者のバージョン ☆ サスキア先生のバージョン)

201) 峠道清掃を終え花を待つ(安中市 入沢正夫)

" Ja habe ich fertig den Pass zu kehren,
nun, bin ich bereit
zur Kirschbluete.

☆ Nach dem Ende des
Fegens des Bergpassweges
warten auf die Kirschbluete.

* Kirschbluete : 季語「桜の花」

(" Singen von Bluete und Vogel" , S. 139, 加藤慶二、Werner
Schaumann 共著、2004年11月、永田書房発行)

(筆者の感想) 作者にとって、桜の開花は美人の来訪と同じなのです。

フォントの文字化け問題を避けるため、ドイツ語特有の文字については国際的に標準的な
ASCII 転記 ae, oe, ue, ss を行っています。知的活動の源である言葉の記号の象徴的意味を
ないがしろにする蛮行ですが、メディア利用の便宜のため、乞容赦。(世話人)

203) 強そうな四股名負けたり夕薄暑 (宇部市 磯 美枝子)

“ Ein Shikona* der stark klingt
wurde geschlagen – so komisch,
ein bischen heiss am Sommerabend.

* *Shikona* : ein Kunstlername eines Sumorigers

☆ Der Name des Sumokaempfers

klang stark --- ach, verlor. Leichte Hitze
eines Sommerabends.

* *ein bischen heiss am Sommerabend* : 季語「夕薄暑」

(筆者の訳)

(筆者の感想) 強そうな四股名の力士が負けるのは“名前負け”と言われて滑稽な一幕です。作者は競技とリラックスした雰囲気を楽しんだのでしょう。

207) 窓開けて紫陽花色の風通す (生駒市 山村 修)

“ Lass uns den Fenster oeffnen
um hortensiefabrige Luft
ins Zimmer zu lassen.

☆ Das Fenster oeffnen,

Wind reinlassen in der Farbe
der Hortensien.

* *Hortensie* : 季語「紫陽花」(『Singen von B. V.』 S. 208)

(筆者の感想) 作者の幻想が見事に詩になりました。

(つづく)



中尾美園個展より

地熱発電システム開発の歴史と現状

(その 4)

History and Current Status of the Development of Geothermal Power Generation Systems

藤川 卓爾(S42 卒)

[出典] 地熱技術, Vol. 33, Nos. 1&2, Ser. No. 72, pp. 57-69, (2008-5) 添付図・写真で特記ないものは三菱重工業(株)長崎造船所の提供による。

共著者 三菱重工業(株) 齊藤象二郎, 石黒淳一(S61)

4. 地熱発電システム開発の歴史

4.3 ポータブル地熱発電装置の開発^{11), 12), 13)}

(前号の つづき)

復水型にすると同一の蒸気流量から発生する出力を増やすことができる。ただし、体積の大きな復水設備や冷却水設備が必要となるが、ある容量までは可搬性を維持することが可能である。10MW までのポータブルタービンは発電機や油タンクとともに一体の架台上に組み立てられる(写真9)。

ポータブルタービンの開発が進められている頃、輸出向け火力発電用のタービンでモジュール輸送が始まった。モジュール輸送はポータブルタービンと同じくタービンを工場で組み立てたまま海外の発電所まで輸送し、そのまま据付けて運転するものである。これにより一旦工場で組み立てた後、分解して輸送し現地で再組み立てする

ことに比べて、時間とコストが低減できる。モジュール輸送は50MW 級の比較的小型の単車室タービンから始めたが、最終的には4車室600MW 級の大容量タービンにまで適用できるようになった。ただし、タービンは車室毎に、発電機や油タンクはそれぞれにモジュールとして輸送する。

火力用のモジュールと同じように発電機や油タンクと別モジュールとすることによってポータブルタービンも大容量化ができるが、海岸近くに設置さ

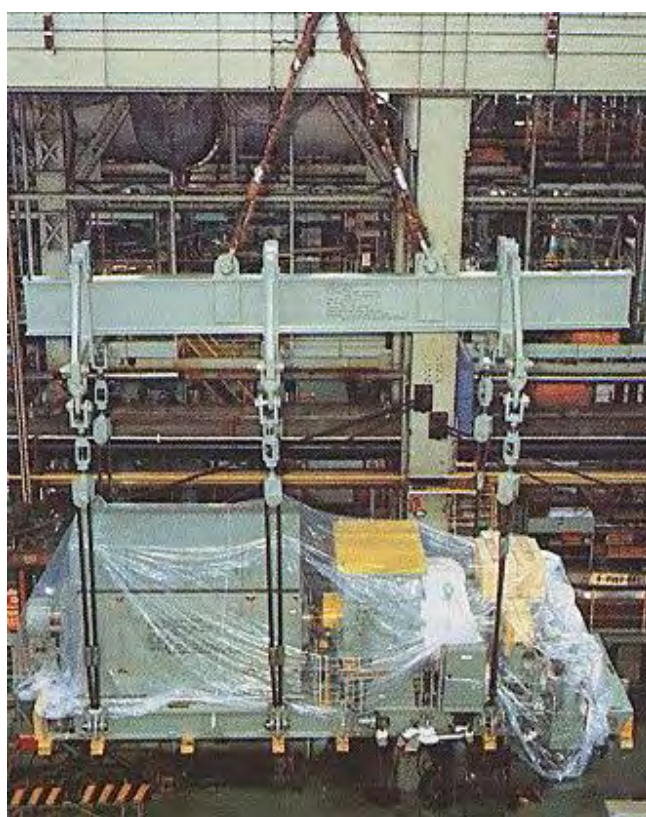


写真9 米国向け10MW 復水式ポータブルタービン

れる火力発電所と異なり，地熱発電所は山間部に立地することが多いので，陸上輸送の制限によって決まる。ポータブルタービンの出力は最初は1.3～3MWであったが，10MWさらに25MW級のポータブルタービン(写真10)も開発され，複流では50MWまで実績がある¹⁴⁾。

バイナリーサイクルのポータブルタービンも開発された。1977年に当時の通商産業省のサンシャイン計画で，イソブタンを作動流体とする1MWの試験プラントを開発した¹¹⁾。このプラントには作動媒体の圧力・温度・流量の条件に最適なラジアルフロータービンを適用した(第6図)。

1997年には経済産業省の中規模地熱バイナリー発電システム開発プロジェクトで代替フロン

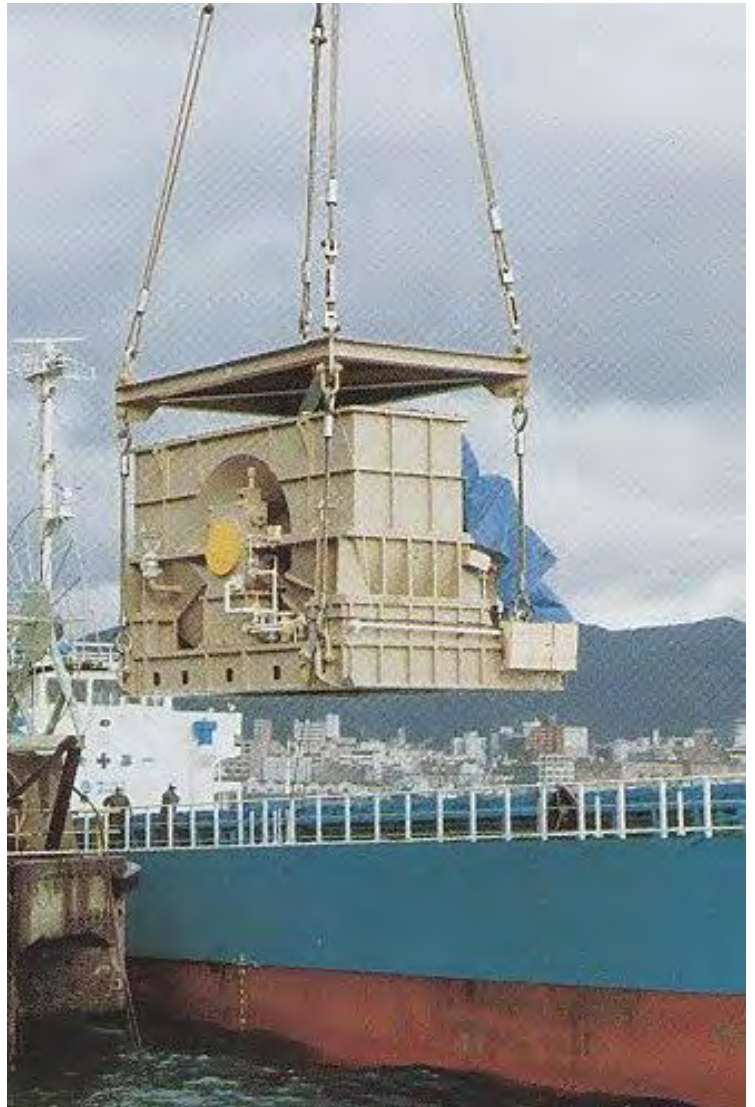
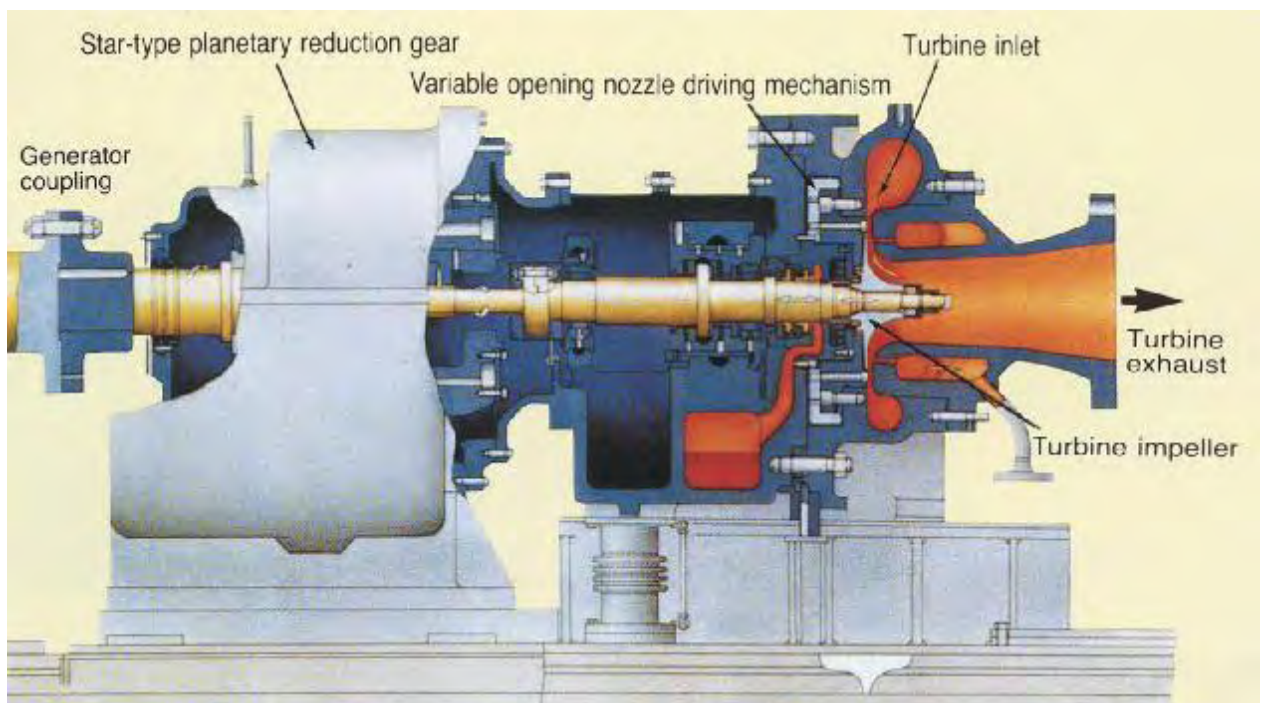


写真10 25MW級ポータブルタービンモジュール輸送



第6図 バイナリーサイクル用ラジアルフロータービン



HCFC123 を作動媒体とした490kW バイナリーサイクル発電プラントを開発した(写真11)¹⁵⁾。

これらの2例はいずれも④の既設発電所の排熱水を利用するものである。

写真11 NEDO 490kW バイナリーサイクルプラント

4.4 大容量地熱タービンの開発

米国カリフォルニア州ガイザーズ地区は蒸気卓越型であることもあって、早期(1960年)から地熱発電が行われている。この地区には日本製の大容量の地熱タービンが多数納入されている。東芝は1975年に2車室の110MW機を納入した。三菱重工業も1983年に2車室の70.65MWタービンを納入した(写真12)。このタービンは当時世界最長の25インチ最終段翼を有し、復水器の高真空化により既設他ユニットに比べて25%増の熱効率を記録した¹⁶⁾。

翌年には、同型式タービンで世界最大容量となる150.85MW機を受注した。残念ながらこのタービンは納入後も未だに据付けられていない。現在稼働中の世界最大容量機は1983年運開の東芝製124MW機である。

その後、ISB(インテグラルシュラウド翼)¹⁷⁾などの新型長翼の開発によって、大容量化が進み、現在では三菱重工業(30インチISB適



写真12 米国SMUD 70.65MWタービン

用)と富士電機(697mm フリースタANDING翼適用)の単車室最大容量110MWタービンがインドネシア向けに納入されている。

参考文献

- 11) 相川賢太郎, 福田征孜, 田原護: 地熱発電プラントの最近の実績, 三菱重工技報, Vol. 15, No. 2, (1978-3), pp. 79-95.
- 12) 田原護: 最近の小型地熱発電プラントについて, 地熱エネルギー, No. 19, (1982)
- 13) 檜原勇多賀, 池上正俊: 地熱ポータブルタービン発電機, 地熱エネルギー, Vol. 11, No. 2, (No. 34), (1986-4)
- 14) 齊藤象二郎, 池上正俊, 藤川卓爾: Recent Experiences in Geothermal Power Plants Developed in Japan, Proc. of World Geothermal Congress, 1995, Vol. 3, (1995-5)
- 15) 浦啓夫, 齊藤 象二郎: Geothermal Binary Power Generating System, World Geothermal Congress 2000, F8-3.
- 16) 福田征孜, 檜原勇多賀, 藤川卓爾, 池上正俊: 三菱大容量地熱タービン, 三菱重工技報, Vol. 22, No. 3 (1985-5), pp. 1-6.
- 17) 齊藤象二郎, 松田 尚徳: Technologies Applied to Olkaria II Geothermal Power Plant, 2nd Kenya Electricity Generating Company Geothermal Conference, 7-8, April, 2003, pp. 140-145.

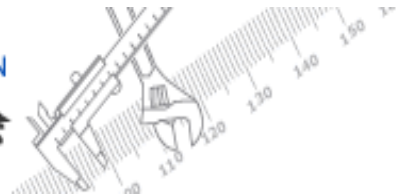
(つづく)

—— 京機短信への寄稿、 宜しくお願い申し上げます ——

【要領】

宛先は京機会の e-mail: jimukyoku@keikikai.jp です。

原稿は、割付を考慮することなく、適当に書いてください。MSワードで書いて頂いても結構ですし、テキストファイルと図や写真を別のファイルとして送って頂いても結構です。割付等、掲載用の後処理は編集者が勝手に行います。宜しくお願い致します。



報告

9月5日～9日までエコパ（静岡県）で行われた第9回全日本学生フォーミュラ大会において、静的審査で躍進！

しかし、まさかのエンデュランスリタイヤ！

初日の技術車検では、事前に繰り返し確認を行ってきた甲斐あって、軽微な修正を施すのみで通過を達成し、その他の車検項目も難なく通過しました。2日目からはいよいよ大会競技が本格的に始まりました。まずはプレゼン審査。長期的な視点で企画を考え抜いていることなどが高く評価され、6位という好成績を収めました。続くコスト審査では資料の正確性が認められ、KART 史上初となる種目別1位を獲得。デザイン審査でも、ギアドライブのユニーク性や、車両開発プロセスの的確さが好評を得て、デザインファイナル進出を掴み取りました。

動的イベントが始まる3日目。まずは、森・小川の3回生コンビがアクセラレーション・スキッドパッドに挑み、緊張感からか本来の走りとはいかないまでも、無難にタイムを残しました。午後からのオートクロスでは武田・藤井の4回生コンビが、車両セッティングが合わない中、精一杯のタイムを叩き出しました。



種目	順位	得点
コスト	1位	94.60/100
デザイン	3位	135/150
プレゼンテーション	6位	56.25/75
アクセラレーション	32位	34.80/75
スキッドパッド	10位	34.61/50
オートクロス	7位	138.33/150
エンデュランス	リタイア	8/300
燃費	リタイア	0/100
総合	21位	501.59/1000
特別賞	CAE 特別賞, 最軽量化賞	

4 日目. エンデュランスに挑みました. 1 走目の武田がラップタイムを更新しながら好走を続けるなか, 突如としてエンジンが停止. 再スタートを試みませんが, セルモータの音だけが空しく会場に響きます. オフィシャルが頭上に×印を掲げ, その瞬間, 私たちの夢はついえました. 総合21 位という結果に終わりました.

しかし振り返ってみると, 特別賞を得た事からもわかるように, 京大チームの面目躍如のようにも思います. すなわち, 今まで学生フォーミュラでは車両の構造設計を簡単にするため, 全ての車がエンジン横置き・チェーン駆動の形式を採用していましたが, 我々京大チームは本当の車のようにハイポイドギア駆動を本年始めて採用し, さらに, エンジン・駆動系を含めての軽量コンパ



クト化のため、また、大きな低速トルクを得るため、単気筒を採用するなど他に類を見ない開発を行いました。また、京大チームの定番的技術になっているアルミフレームの効果もあって、車両の大幅な軽量化を達成しました。

この設計のユニーク性や、各パーツのコンペティティブな設計が高く評価されるとともに、車両開発プロセスの的確さが審査員の方の好評を得ました。自分達がやってきたことが高く評価され、これまでの苦勞が報われたような、感慨深い審査となりました。

また、恐らく気象条件に対応するためのコンピュータマップの設定・調整の不備で本チャンでは失敗したものの、絶対的な走行性能ではどこも負けていなかった事は全員が感じており、来年に向けての大きな希望を持たせています。



野次馬話 第31話

「現行犯で逮捕された〇〇容疑者は・・・」

S43 卒 遠藤 照男

現行犯で逮捕されたのに、新聞・TVの報道は、「〇〇容疑者を現行犯逮捕」など奇妙なことを言っている。目の前で明確な罪を犯し逮捕されているのに何故容疑者なのか、感覚的には非常に気に入らない。また、法曹界で言う「疑わしきは罰せず、有罪判定があるまでは推定無罪。」だからと考えているのであれば、現行犯人に対して温情過ぎる。

メディアは、「権力による不法逮捕！」と口癖のように言っている輩の存在を慮るか、呼び捨てでは犯人扱いしていると反省し、「容疑者」という造語で呼ぶようになったのだろうが、人権尊重を取り繕っているだけで、現実には「容疑者」を「犯人」の意味で報道し、聞く方もとっくの昔からそのように受け取っている。

刑事問題に関する法律に「刑法」と「刑事訴訟法」がある。刑事訴訟法は字面から訴訟手続き以降のことを定めていると思っていたが、捕える、拘留する行為も刑事訴訟法の範疇にある。この法では、罪を犯した疑いで捜査機関によって捜査の対象となっている者が「被疑者」で、犯罪を犯したとして提起された後は「被告人」と呼ばれるが、メディアは逮捕、指名手配、嫌疑されると「容疑者」と呼び、提起されると「被告」と呼んでいて、メディアの用例は正しくない。刑事事件の犯罪者が「被告人」であり、犯罪者とは限らない、民事裁判で訴えられた者が「被告」であることも弁（わきまえ）てはいない。

せっかく調べたので、用語の定義を並べておく。

- ・ 犯罪 刑法は犯罪の種類と刑罰詳細に規定している。
- ・ 被疑者 犯罪を犯した疑いで捜査機関によって捜査の対象になりながら未だ提起を受けていない者。
- ・ 起訴（提訴） 検察官から裁判所へ、犯罪事実を認定し、どのような刑罰が妥当かを定める手続きを求めること。
- ・ 告訴と告発 告訴は、被害者や縁のものが捜査機関に犯罪事実を告げて犯人の捜査や訴追を求めることで、告発はこれを第三者が行うこと。
- ・ 逮捕 刑事訴訟法に、①取調べ、捜査を経て裁判官の許諾を得た逮捕状による逮捕、②十分な理由があるが裁判官の逮捕状を求めることが出来ない急速捕、③現行犯逮捕、④私人による現行犯逮捕が規定されている。

H23 晦日会（河本教授研究室同窓会）開催報告

河本研〇B有志の同窓会である晦日会が平成23年8月27日（土）17時よりホテルグランビア大阪19階アブで開催され、15人が集まりました。飲食・歓談の後、椿本氏（S42卒）からパソコンを使ったフォトストーリーにより、「西日本にも巨大地震と大津波が到来する危険がどんどん高くなっており、決して忘れないように」とのプレゼンがなされ、皆熱心に視聴しました。本会を来年も8月最終土曜日に行うことを確認しました。したがって次回は平成24年8月25日（土）に開催します。



本会は前回の案内に返信をいただいた方に案内することで進めています。関心を持たれた方は幹事 hi_kawai@bcb.bai.ne.jp (川合等 S42 卒) まで連絡ください。

1．現下の円高が産業に与える影響に関する調査 平成23年9月1日

<http://www.meti.go.jp/press/2011/09/20110901003/20110901003.html>

足下では企業の想定レートを上回る水準の円高が続いており、日本経済に及ぼす影響について注視していく必要があります。経済産業省では、円高が企業活動、収益等に及ぼす影響等について、調査を実施し、結果をとりまとめましたので、公表いたします。

「現下の円高が産業に与える影響に関する調査」の結果の公表

<http://www.meti.go.jp/press/2011/09/20110901003/20110901003-1.pdf>

(大企業・製造業編)

<http://www.meti.go.jp/press/2011/09/20110901003/20110901003-2.pdf>

(中小企業編)

<http://www.meti.go.jp/press/2011/09/20110901003/20110901003-3.pdf>

2．みずほリサーチ 2011年9月1日 みずほ総研

<http://www.mizuho-ri.co.jp/research/economics/pdf/research/r110901.pdf>

今回の円高はなぜ生じたかの疑問に答える

～「ニクソン・ショック」から40年、「オバマ・ショック」はあるか～

<http://www.mizuho-ri.co.jp/research/economics/pdf/research/r110901point.pdf>

経済見通し： 政策対応が行き詰まり、世界経済は減速

～海外経済減速が、復興を目指す日本の向かい風に～

<http://www.mizuho-ri.co.jp/research/economics/pdf/research/r110901forecast.pdf>

経営戦略： 日本のM&A市場の動向～活発化する対外M&A～

<http://www.mizuho-ri.co.jp/research/economics/pdf/research/r110901management.pdf>

ロシア動向： ロシア極東で積極展開する日本の自動車メーカー

～注視される優遇税制「工業アセンブリー措置」の行方～

<http://www.mizuho-ri.co.jp/research/economics/pdf/research/r110901russia.pdf>

中国動向： 中国における地方政府の債務問題

～地方融資プラットフォーム向け貸し出しの不良債権化とそのインパクト～

<http://www.mizuho-ri.co.jp/research/economics/pdf/research/r110901china.pdf>

3．第37回拡大経済産業局長会議 平成23年9月7日

<http://www.meti.go.jp/press/2011/09/20110907007/20110907007-1.pdf>

資料1 最近の地域経済の状況について

<http://www.meti.go.jp/press/2011/09/20110907007/20110907007-2.pdf>

- 資料2 現下の円高が産業に与える影響に関する調査（大企業・製造業編）
<http://www.meti.go.jp/press/2011/09/20110907007/20110907007-3.pdf>
- 資料3 現下の円高が産業に与える影響に関する調査（中小企業編）
<http://www.meti.go.jp/press/2011/09/20110907007/20110907007-4.pdf>
- 資料4 夏の電力需給対策の総括
<http://www.meti.go.jp/press/2011/09/20110907007/20110907007-5.pdf>

4. 円高に対する企業の意識調査 2011年9月5日 帝国データバンク 円高対応、輸出企業の12.6%が海外生産拠点を拡充

～ 円高基調からの反転時期、4社に1社が長期的に反転は期待できない～

http://www.tdb.co.jp/report/watching/press/keiki_w1108.html

調査期間は2011年8月19日～31日。

調査対象は全国2万2,762社で、有効回答企業数は1万1,070社（回答率48.6%）。

調査結果

- * 円高、企業の35.5%が売りに「悪影響」
円高による売りに「悪影響」が35.5%となったが、2010年8月調査時とほぼ同水準。企業は継続する円高に対してさまざまな努力を続けている。
- * 海外と取引を行っている企業は30.9%、うち「輸出」は56.8%
企業の3割超が海外との取引を行っているなかで、「輸出」は56.8%、「輸入」は80.4%、「海外生産」は36.3%となった。特に、繊維や機械関連が多い。
- * 円高対策、「海外調達を増やす」が最多、輸出企業の1割超が海外生産を拡充
円高への対応策では、海外と取引がある企業のうち、「海外調達を増やす」が23.4%で最多。一方、海外生産拠点を拡充・新設し、輸入の拡大で対応する企業が増加。
- * 自国通貨価値の上昇、日本にとって「好ましくない」が67.6%
日本全体にとって自国の通貨価値が上昇することへの好ましさでは、「好ましくない」とする企業が67.6%。家具類小売や医薬品・日用雑貨品小売の2業種で8割超に。
- * 円高基調からの反転時期、4社に1社が「長期的に反転は期待できない」
円高基調から円安基調への反転を期待できる時期として、「長期的に期待できない」が25.8%で最多。「2011年度内」は13.0%にとどまる。

詳細は http://www.tdb.co.jp/report/watching/press/pdf/keiki_w1108.pdf

5. デフレが招く円高 （財）国際貿易投資研究所 2011年8月26日 <http://www.iti.or.jp/flash145.htm>

現在の円高は、欧米経済の不振や債務問題から、一時避難先として円に対する需要が増加しているためと考えられている。すなわち、円高ではなくドル安・ユーロ安なのだ。

6 . 円高の競争力低下影響は限定的 日本総合研 2011年09月12日
<http://www.jri.co.jp/file/report/research/pdf/5660.pdf>

7 . 経済の動き 住友信託銀行調査月報 2011年9月号 No.725
<http://www.sumitomotrust.co.jp/RES/research/PDF2/725.pdf>

2011・2012年度の内外経済見通し

世界経済が動揺する中で高まる下振れリスク

<http://www.sumitomotrust.co.jp/RES/research/PDF2/Outlook1108.pdf>

米国長期金利2%からの先行きをどう見るか

http://www.sumitomotrust.co.jp/RES/research/PDF2/725_2.pdf

金利ボーナスを消失する日本の財政

http://www.sumitomotrust.co.jp/RES/research/PDF2/725_3.pdf

8 . 高まってきた景気先行き懸念 三菱UFJリサーチ&コンサルティング
<http://www.murc.jp/report/research/detail.php?i=1371>
http://www.murc.jp/report_pdf/20110912_095610_0242723.pdf

1 . 今月のグラフ

～基準改定により下方修正された消費者物価指数（CPI）

2 . 景気概況

～景気持ち直しの動きが続くが、先行きに不透明感～

3 . 今月のトピック：高まってきた景気先行き懸念

～悪化する輸出環境と今後の為替動向～

(1) 弱含んできた海外経済～背景にあるのは原油価格急騰の影響

(2) 輸出動向の現状と展望～緩やかな増加基調が続く

(3) 今後の為替相場の見通し～円は高値圏で高止まり

9 . 低下する日本の実質購買力 第一生命経済研 2011年9月9日
～所得収支の受取増加により経常収支の黒字を確保～

http://group.dai-ichi-life.co.jp/dlri/rashinban/pdf/et11_132.pdf

2008年以降の世界経済の不安定化や東日本大震災によるサプライチェーンの寸断など需給両面から、輸出を取り巻く環境が悪化してきた。輸出は日本の経済成長の牽引役であり、その減少は日本経済にとって大打撃となるため、輸出入双方の要因から経常収支の動向が注目される。

2015 年度までに消費税率 10%までの引き上げと、2011 - 20 年の平均名目成長率 1.0%などを前提に経常収支の先行きを試算した結果は、所得収支の下支えによって経常黒字は確保されるものの、貿易収支は赤字へ転化するというものになった。この背景には、新興国の経済成長という実需要因で資源エネルギー価格が高止まりする中で、原子力発電の縮減というエネルギー政策の転換による天然ガスなど資源の輸入が増加することがある。また、産業構造の変化からも輸入増加が見込まれる。それと同時に、研究開発施設などを含めて企業の海外移転がさらに進むため、輸出には減少圧力がかかる。

それに対して、日本企業の海外事業の展開による直接投資の増加に加えて、海外現地法人の利益率の改善などもあり、配当金の還流が増加することで所得収支の黒字幅は拡大する。しかし、国民の購買力に焦点をあてると、資源エネルギー価格の高止まりを背景とした交易損失の拡大により、国民の購買力をあらかず実質国民総所得（GNI）に低下圧力がかかる。それは可処分所得の低下を意味するため、内需の停滞につながるものが懸念される。

内需を活性化するためには、輸出拡大に加えて、所得収支の増加が必要不可欠である。米国の長期的な金融緩和政策や、欧州の財政不安がくすぶる現状では、円高対応緊急パッケージなどの円高対策の効果は不透明といえる。むしろ、輸出にとって逆境である円高を活用して、資源権益の確保など長期的な視点から日本の実質的な購買力の増加につながる政策を進めていくことが必要と考えられる。

10 . 米国景気の減速懸念について 三菱UFJ R&C 2011年9月9日
http://www.murc.jp/report_pdf/20110909_164142_0343385.pdf

【目次】

- Q 1 . 米国経済の「日本化」が心配されています。
- Q 2 . 景気回復に足踏みがみられるのはなぜですか？
- Q 3 . バブル崩壊の後遺症を乗り越えることができるでしょうか？
- Q 4 . QE 3 は実施されますか？
- Q 5 . 景気対策や財政再建の議論は進みますか？

11 . 「減速感が強まった世界経済」 三井物産戦略研 2011.09.09
http://mitsui.mgssi.com/issues/report/r1109x_omura.pdf